

# New year 2015 新春を



立科町議会議長  
滝沢 寿美雄

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたことをお慶び申し上げますとともに、日頃から議会活動に対する深いご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、長野県におきましては大変な年でありました。二月の豪雪に始まり、南木曾町の豪雨災害、御嶽山の噴火、そして十一月の神城断層地震と立て続けに災害が発生をした訳でありまして、被災者の皆様に対しましては心よりお見舞いを申し上げます。

自然の力は大変大きな力でありまして、普段大きな恩恵を受けている一方、時として恩恵だけでは済まされない事が起きてしまい、自然の力の恐ろしさをつくづく思い知らされた一年でありました。幸いにも我が立科町は被害がほとんどなく胸をなでおろしているところでありまして、ちょうど昨年から防災計画が見直されています。見直しを急いでいるところでありまして、議会も残すところ後四ヶ月となります。立科町議会、この四年間を振り返り、町民の皆様のためにしっかり議会活動が出来たのだろうか、思い起こしております。

まだまだ、議会改革も道半ばで有りませし、議会基本条例策定等やらなくては

いけない事が沢山ありますし、町民の皆様のご意見をお聞きし、政策提言に反映をしていく事につながっておりません。前にも申し上げましたが特別委員会を立ち上げ早急に前に進もうと思っております。

日本の経済状況はもとより、地方経済もまだまだ大変厳しい状況に置かれており、この様な経済情勢の中、我が国は、少子・高齢化の進展、人口減少時代の到来という大きな社会構造の転換期を迎えております。立科町も、福祉・医療・教育・環境など様々な分野で課題に直面しており、地方自治体においても、厳しい財政状況のもと、福祉施策の充実、地域経済の活性化、資源循環型社会の構築など地域に即した特色ある町づくりが求められております。そうした事を踏まえ、向こう十年の第五次立科町振興計画を策定中でありまして、「澄んだ空 清んだ水 住みよき町に笑顔が弾む 人と自然が輝く町」をスローガンに持続可能で、自立を堅持した町づくりを計画的に推進する予定です。

こうした事を元に、町民の皆様が将来に「夢と希望」がもて、立科町に生まれ育ったことに、喜びと誇りを感じていただけの町づくりに、町行政と共に力強く推進していかねければならないと、決意を新たにしているところであります。

常日頃から、町民の意思を把握する事は当然の事でありまして、開かれた議会運営に努め、町民の皆様の信頼と負託に応えられるよう議員一同、議会活動に全力を傾注して参る所存であります。

終わりにあたりまして、今年一年が立科町にとりまして、素晴らしい年でありますと同時に、町民の皆様のご健勝とご多幸を重ねまして心よりお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

